

総合安全保障研究科前期課程第24期学生 選抜筆記試験問題

国際関係論

次の2問に答えよ。

- 問1 日米安保体制や北大西洋条約機構（NATO）などの「同盟」の効用には、どのようなものがあるか。適宜、具体例を挙げながら、幅広く論じなさい。
- 問2 現代の様々な武力紛争の形態（国家間戦争、テロリズム、民族紛争、ハイブリッド戦争、など）から一つを選び、その特性について簡単に説明したのち、その武力紛争の形態が現代の国際関係に与える影響について論じよ。その際に「現代」について適切な時代区分を定義すること。

国際政治史

次の2問に答えよ。

- 問1 1950年代後半から1970年代初めの日本の高度経済成長を可能にした国際政治上の諸条件を説明せよ。特に安全保障と資源供給の要素に着目すること。
- 問2 湾岸戦争が1990年代の国際社会における紛争介入に及ぼした影響について論じよ。

公共経済学

次の2問に答えよ。

問1 テロリズムが一国の経済に与える影響について論じなさい。

問2 近年、一部の主要国において、自由貿易の理念に反する政策をとる動きが見られる。そうした動きは、世界経済全体にどのような影響を及ぼすと考えられるか、論じなさい。

憲 法

次の2問に答えよ。

問1 「参議院の緊急集会制度は、衆議院が不在となる間に緊急事態が発生した場合において、政府による専断を許さず、これを民主的に統制する有効な仕組みである」。防衛上の緊急事態、災害緊急事態等の発生を想定した場合、このような見解はどの程度是認され得るか。緊急事態対応における参議院緊急集会制度の可能性と限界について論じなさい。

問2 いわゆる「統治行為論」の内容及び根拠を解説した上で、これとの関係で日米安全保障条約に基づくアメリカ軍の駐留が憲法9条との関係でどのように位置付けられるかについて最高裁判例を踏まえつつ解説しなさい。

国 際 法

次の2問に答えよ。

問1 国家責任の成立について、「帰属」、「国際違法行為の態様」の問題を中心として説明しなさい。

問2 武力紛争法における奇計と背信行為について、両者の違いを踏まえつつ、論じなさい。

組織管理論

次の2問に答えよ。

問1 組織管理論の歴史的な発展経緯について概説しなさい。できるだけ多くの理論や学説に言及し、体系的に整理して述べること。

問2 「セクショナリズム」という現象について具体例を挙げながら説明すると同時に、なぜそのような現象が生じるのか、どのような方法で解決することができそうか、組織管理論の概念や理論を踏まえながら具体的に論述しなさい。その際、解決策の有効性の根拠を示しながら述べること。

行 政 学

次の2問に答えよ。

問1 小泉純一郎内閣が推し進めた、いわゆる「三位一体改革」の内容や効果、さらには改革に対する評価について述べなさい。

問2 本来、「市場の失敗」を正すべき政府が適切な役割を果たせず、効率が悪化するなど、かえって弊害をもたらすことを「政府の失敗」と呼ぶ。この「政府の失敗」はどのような要因で起こり、またその是正のためにどのような政策がとられてきたか、説明しなさい。